

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和1年7月25日(2019.7.25)

【公開番号】特開2018-46982(P2018-46982A)
 【公開日】平成30年3月29日(2018.3.29)
 【年通号数】公開・登録公報2018-012
 【出願番号】特願2016-183826(P2016-183826)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【FI】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 C

A 6 3 F 5/04 5 1 2 B

【手続補正書】

【提出日】令和1年6月19日(2019.6.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技媒体に関する所定の情報を表示可能な第1表示手段と、
管理情報を表示可能な第2表示手段と、
第1表示手段のセグメントを点灯させるための所定プログラムを少なくとも記憶した第
1制御領域と、
第2表示手段のセグメントを点灯させるための特定プログラムを少なくとも記憶した第
2制御領域と
を備え、
割込み処理によって、第1制御領域に記憶された所定プログラムと、第2制御領域に記
憶された特定プログラムを実行可能とし、
第2表示手段は、第1表示部、第2表示部、第3表示部、及び第4表示部を有し、
第1表示部及び第2表示部により、管理情報として、所定の割合に関する情報を表示し
ていることを示す所定の識別情報を表示可能とし、
第3表示部及び第4表示部により、管理情報として、前記所定の割合に関する情報を表
示可能とする

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、管理情報を表示可能とする遊技機に関するものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 4 】

今般、遊技機（スロットマシン）のメイン制御基板に、有利区間割合等（管理情報）を表示可能な7セグを搭載することが検討されている。

一方、従来より、遊技機には、貯留数を表示する7セグや、獲得数を表示する7セグ等が設けられている。

このように7セグの数が増加したときに、管理情報を含む表示処理をどのように設計すべきかが問題となる。

本発明が解決しようとする課題は、管理情報を含む表示処理を適切に実行することである。

【 手 続 補 正 4 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 5

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 5 】

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する。なお、カッコ書きで、対応する実施形態の構成を示す。

なお、本願の当初請求項に係る発明は、後述する当初発明1～42のうち、当初発明37に相当する。

本発明（第20実施形態；図124）は、

遊技媒体に関する所定の情報を表示可能な第1表示手段（貯留数表示LED76、又は獲得数表示LED78）と、

管理情報を表示可能な第2表示手段（有利区間表示LED77）と、

第1表示手段のセグメントを点灯させるための所定プログラム（LED表示制御（I_LED_OUT））を少なくとも記憶した第1制御領域（ROM54の使用領域）と、

第2表示手段のセグメントを点灯させるための特定プログラム（比率表示処理（S_LED_OUT））を少なくとも記憶した第2制御領域（ROM54の使用領域外）と

を備え、

割込み処理（I_INTR）によって、第1制御領域に記憶された所定プログラムと、第2制御領域に記憶された特定プログラムを実行可能とし、

第2表示手段は、第1表示部（デジット6）、第2表示部（デジット7）、第3表示部（デジット8）、及び第4表示部（デジット9）を有し、

第1表示部及び第2表示部により、管理情報として、所定の割合に関する情報を表示していることを示す所定の識別情報（情報種別）を表示可能とし、

第3表示部及び第4表示部により、管理情報として、前記所定の割合に関する情報（数値（比率））を表示可能とする

ことを特徴とする。

【 手 続 補 正 5 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 6

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 6 】

本発明によれば、第1表示手段に係る所定プログラムと第2表示手段に係る特定プログラムとを分けて記憶しておき、それぞれ所定プログラム及び特定プログラムの実行により第1表示手段及び第2表示手段の表示を行うので、プログラムの記憶や実行を効率よく行うことができる。

また、第2表示手段の異なる表示部を用いて識別情報と所定の割合に関する情報とを表示するので、表示内容の明確化を図ることができる。